

市民参加型プロジェクト評価項目2007

	基本項目	実践項目	06表示
1. 幅広い参加の範囲 多様なステークホルダーを特定し、参加させる努力をしているか	多様なステークホルダーを特定するための策を講じているか	1-1 ステークホルダー分析等によりステークホルダー情報の収集に努めているか	new
		1-2 重大な利害関係を持つステークホルダーを漏れなく参加させているか	1-3+
		1-3 ステークホルダーの範囲を直近～広域に至るまで、多層に想定した上で定めているか	new
		1-4 これまで恩恵を受ける機会の少なかったステークホルダー(低所得者層、障害者等)の意見を聴く努力をしているか	1-5
	ステークホルダーを公正に抽出しているか	1-5 ステークホルダー特定に際して、第三者の意見を取り入れているか	new
		1-6 公募の導入等、自らがステークホルダーであると主張する人への対応を行っているか	1-1+
	参加を促すために広範な周知や情報提供を行っているか	1-7 参加レベルに応じた情報提供手法を用いているか	new
		1-8 関心の薄いステークホルダーに対しても情報を提供し、意見を聴く努力をしているか	1-8
	ステークホルダーの特性に応じた多様な参加の場を設けているか	1-9 ステークホルダー特性に応じた多様な参加の場を設けているか	1-6
		1-10 多くのステークホルダーが参加できる様に配慮して会合の場所、曜日、時間を定めているか	1-7
	【事後】利害関心を持つステークホルダーが参加できたか	1-11 抽出したステークホルダーは参加したか	1-9
		1-12 想定しなかったステークホルダーが現れた場合にプロセスの途中でなくても参加の機会を設けたか	1-10
2. 高い参加のレベル 参加者の主体性を引き出し、より高い参加レベルを目指しているか	市民の関与度合いの高い参加を目指した手法を用いているか	2-1 ニュースレターやアンケートなどの一方通行の情報提供・収集よりも高い参加を促す手法を用いているか	new
		2-2 様々な参加レベルを組み合わせてPIプロセスを設計しているか	2-1
		2-3 検討段階や提供、収集情報の内容に合わせて、適切な参加方法を設定しているか	2-2
		2-4 住民発議等のステークホルダーが提案できる機会を設けているか	5-12+
	ステークホルダーはPIプロセスの上流から継続的に参加できるか	2-5 政策立案・執行過程の初期段階から参加機会を設けているか	2-8
		2-6 途中からの参加であっても、これまでの経緯や現段階から参加を開始する理由に関する情報提供を行っているか	new
		2-7 段階的な検討の全ステップにわたり、継続的に参加機会を設けているか	2-9
	ステークホルダーは自らの役割や参加することの意義を認識しているか	2-8 ステークホルダーに対して、会の目的やどんな役割を求められているかを明確にした上で参加の場に集まってもらっているか	
		2-9 ステークホルダーに、PIプロセスに責任を持って参加し、自分の意見を表明することの重要性を認識してもらう努力をしているか	2-5
		2-10 意思決定者は、PIプロセスに積極的に参加し、参加者に対する期待を表しているか	2-6
	ステークホルダーの発言を尊重し、利害関心を探る努力をしているか	2-11 ステークホルダーの意見を賛成、反対ではなく、利害関心レベルで把握できる様な場とツールを用いているか	new
		2-12 利害関心に基づく対話を導くためにファシリテーションなどの対話技術を用いているか	3-8
	【事後】ステークホルダーは十分に自分の意見を述べる事ができたか	2-13 参加者は、PIプロセス全般において、自らの関心やニーズを不当に曲げられたり、妥協したり、不平を感じることはなかったか	2-10
【事後】PIプロセスが参加者にもたらした学習効果があったか	2-14 PIプロセスを実施したことにより、参加に対する意識が高まったか	2-11	
	2-15 PIプロセスを実施したことにより、新たな人間関係や市民活動などのソーシャル・キャピタルが形成されたか	2-12	
3. 目的の共有と解決策の模索 プロジェクトの目的や課題を相互尊重することで共有し、ベストな解を探す努力をしているか	ステークホルダーがお互いの利害関心を理解し、対話できる様な工夫をしているか	3-1 ステークホルダーが決定者のみと対話するのではなく、他のステークホルダーと対話し、歩み寄ることのできる場が検討されているか	2-4 3-11
		3-2 相反する利害関心を持ったステークホルダー間において建設的な話し合いのできる様な工夫をしているか	3-12
	相反する利害関心を同時に満たす目的、課題を見出す努力をしているか	3-3 PIプロセスの初期の段階で目的や解決すべき課題を関係者間で共有できる様にしているか	3-1
		3-4 目的、課題を共有する努力をPIの各ステップで継続的に行っているか	3-3+
		3-5 ガイディングクエスチョンの様な形で多様なステークホルダーの意見の和集合を提示しているか	new
	問題解決のために必要な情報を提供しているか	3-6 求めている情報が何かをステークホルダーに対して聞いているか	3-4
		3-7 ステークホルダーが必要とする全ての情報を提供する努力をしているか	3-5
		3-8 図表・イラスト・写真を用いる、専門用語の解説をつける等、わかりやすい情報提供に努めているか	new
		3-9 マスメディアに対する正確な情報提供・情報共有を図っているか	3-6
	考えられる複数の問題解決策を比較検討しているか	3-10 解決策を見出す際に、代替案を提示し比較検討しているか	3-9
		3-11 代替案の中にゼロ案(実施しない案)が含まれているか	3-10
		3-12 比較検討のための評価項目にステークホルダーの意見を反映させているか	new
	【事後】参加者間の相互尊重がなされたか	3-13 主張の異なる主体が相互に利害関心を理解しあうことができたか	3-13
		3-14 PIプロセスを行った結果、参加者は納得し、満足したか	3-14

4. 意志決定への反映 ステークホルダーの利害 関心を反映させ、コンセン サスを目指しているか	ステークホルダーの利害関心を反映させるための努力をしているか	4-1	ステークホルダーの意見を賛成、反対ではなく、利害関心レベルで目的、意思決定内容等に反映させているか	4-1	
		4-2	できるだけ多くのステークホルダーの利害関心を反映する努力をしているか。	4-3	
		4-3	ステークホルダーの利害関心の反映方法や判断基準を関係者間で共有しているか	5-8	
		4-4	ステークホルダーの利害関心を意思決定に反映させるため、行政間のパートナーシップを行っているか	4-2	
	意思決定者を明確にしているか	4-5	誰が意志決定者であるかを参加しているステークホルダーに対して明確にしているか	4-5	
		4-6	本来意思決定すべき者がその任を他者に依存せず、自らの責任を果たしているか		
	【事後】ステークホルダーはPIプロセスを経た意思決定に納得したか	4-7	ステークホルダーはPIのプロセスを経た決定であることを評価しているか		
		4-8	表明していた立場に反する意思決定が行われた場合、ステークホルダーはその結果を受け入れることができたか		
	【事後】意思決定後における説明責任を果たしたか	4-9	ステークホルダーの表明していた立場に反する意思決定が行われた場合に、その理由を示す十分な情報を提供したか	4-7	
		4-10	ステークホルダーの表明していた立場に反する意思決定が行われた場合に、ステークホルダーの意見を聴く場を設ける等の理解を得る努力をしたか	4-8	
5. プロセスの信頼 段階的なプロセスを踏み、 それをステークホルダーと 共有、確認しながら進め ているか	計画的なPIプロセスを導入しているか	5-1	プロジェクトの開始に先立ってPIプロセスの全体設計を行っているか	5-1	
		5-2	政策の検討から決定に至る計画検討プロセスとの整合性を図りながらPIプロセスを設計しているか	new	
		5-3	検討事項を区切って進める段階的な検討プロセスを導入しているか	5-3+	
		5-4	段階的なプロセスの各ステップごとの提供情報、収集情報を設定しているか	new	
	ステークホルダー間でプロセスを共有しているか	5-5	PIプロセスの設計段階で、PIプロセスに関する情報をステークホルダーに通知しているか	5-5+	
		5-6	PIプロセスの初期に、計画検討とPIプロセスにおける手順、体制、ルールを関係者間で共有しているか	5-6	
		5-7	PIプロセスが最終決定に与える影響について、ステークホルダーと話し合いをしているか	5-7?	
		5-8	PIプロセスに関わる情報は完全に残し、各段階で速やかに整理し、入手できるようにしているか	5-9?	
		5-9	段階的なプロセスの各ステップごとに、検討内容や判断についてステークホルダーに確認しながら進めているか	5-4	
	説明責任を果たしながら進めているか	5-10	段階的なプロセスの各ステップごとにステークホルダーから収集した意見を取りまとめ、次のステップにどう反映されているかを示しているか。	new	
		第三者の公正な活用を行っているか	5-11	手続きの透明性、客観性、公正さを確保するために第三者による委員会等を設けているか	new
			5-12	ステークホルダーとの対話を進めるにあたって、ファシリテーターやメディエーター等の中立的な進行役をたてているか	5-10
			5-13	ファシリテーターやメディエーターは公正に選出されているか	5-11
			5-14	ファシリテーターやメディエーターの中立性を担保するために、協定書を交す等の策が契約時になされているか	new
			5-15	ファシリテーターやメディエーターの中立性についてステークホルダーからの評価を聴く機会があるか	new
	ステークホルダーからのフィードバックの機会を設けているか	5-16	検討の進み方や参加しているステークホルダーの意見を踏まえて、参加方法を模索し、見直しを行っているか	2-3 5-2	
		5-17	重要な決定の前には、決定についての情報を適切な手段を用いて広報しているか	5-13	
		5-18	広報した情報に対して、ステークホルダーがレビューコメントするための適切な時間を確保しているか	5-13	
		【事後】PIプロセスの評価をしたか	5-19	ステークホルダーへの事後アンケート等を行い、PIプロセスの評価を行ったか	5-14